

輸出事業計画

※申請者名：長工醤油味噌協同組合・チョーコー醤油株式会社、
品目：醤油・醤油加工品

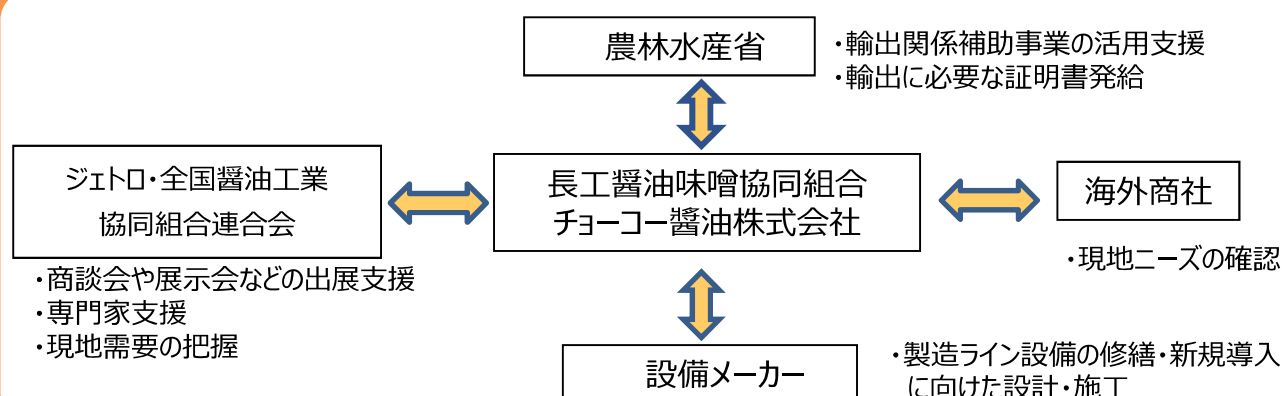
1. 輸出における現状と課題

- ・ 当社は80数年前に長崎県内の有名醸造元29軒が集い発足。近年、日本国内の醤油消費量は減少している状況にあるものの、当社は長崎県内において品質・生産量ともにトップクラスの位置にいる。
- ・ 国内人口の減少傾向が今後も想定されること、日本国内の醤油消費量が減少していることなどをきっかけに、当社は10年前より輸出の取り組みを開始。これまでJETROや長崎県と連携し、日本国内商社を通じたルートや当社独自のルートなどで、中国をはじめとする東アジア、東南アジア、EUなどの国に輸出を行ってきた。
- ・ 今後、EUや北米等もターゲットするにあたりワールドスタンダードに合う生産環境を整えなければならない。
- ・ また、業務用の比重が大きく、小売用の商品が少ないなどの課題もある。

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・ 3年前にFSSC22000を取得し、工場全体の食品衛生度を向上させた。今後、海外事業の出荷増に対応するため、補助事業を活用し工場設備の更新・拡充に取り組む予定である。
- ・ EUや北米の国々における商談会・展示会への参加、現地への直接営業を通じて当社商品のアピールを行い、新規販路開拓をすすめるとともに、価格競争にならないようにオンリーワンの商品を開発していく。
- ・ JETRO・全国醤油工業協同組合連合会等と連携し、現地のニーズや規制情報を把握した上で、現地の商談会・展示会・フェアなどに積極的に参加していく。
- ・ 小売用の比重を増やすため、特に高級小売店向け商品を積極的に提案していく。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状（令和3年）	目標年（令和9年）
輸出額（千円）	45,000	100,000
輸出先国	中国、韓国、EU、米国など	中国、韓国、EU、米国など